

スーパー堤防 Q&A特集

小岩全体の問題です。ぜひ知ってください
そして「長いものに巻かれる」のか「NO」と
言って行動するのか、判断してください。

一、区の側の問題

Q 「区主催の意見交換会」の正当性は

A 区は「意見交換会」の中では、実施を前提にした説明をしています。未だ何も決定はしていません。何故なら最低限必要な『都市計画決定』という手続き、区画整理の事業決定という法的手続きもなされてなく、住民を欺く行為です。

Q 区というところのある団体の間違った情報として「1700億円」の予算とは

A これは区が、区議会のある会派に概算見通しとして開示したものです。

河川事業の60%（一千億円）と国庫補助金等の350億円・河川分担金350億円の合計40%（700億円）とした資料があります。

Q 区はなぜ北小岩をターゲットにしたの

A 結論は、スーパー堤防を大義名分に国の予算で街をつくりたい、というもの。

土地を買収することなく住民を移転させ、その間に堤防工事や道路・公園の再配置をやり、密集市街地の改善を行うといっています。

（防災という名目が必要なので、スーパー堤防と抱合せて、有無を言わせないとりか）

北小岩地区を高層化にして古い小岩の街を臨海町のように鉄筋コンクリートの無味乾燥な街並に変えてしまう計画なのでしょうか。

北小岩地区は建築高10mまでと規制があり（三階建てまでしか建てられない所もあり）だから静かで、落ち着いた街並なのです。

Q 意見交換会でのスライドは恐怖に感じている
また、「個別相談会」をなぜやるのか

A 正にその通りで、他の地区と比べても比較的安全な北小岩の堤防といわれているのに、区は洪水の恐ろしさをスライドで見せ、又その一方で、新しい高層住宅街の写真を見せて、完成すればこのような夢の街ができます、と

「恐怖とユートピア」で描いています。

しかし、このやり方は悪徳商法の手法と全く一緒で、「血液ドロドロをサラサラに」と脅しながら「個別相談会」なる別室で取り囲んで迫る「サギ商法」のやり方と同じです。

Q 関宿水門は古くて機能していない、というが

A 仮に区がそう言うのなら、小岩をスーパー堤防にするだけではすまなくなり、むしろ関宿の水門を新しくすべくだろう。

二、住民からの素朴な疑問・問題

Q 街がきれいになるのなら、良いのでは

A 補償Ⅱまず、土地の買収の必要がなく、移転費（現在の建物の建築費用の20%〜90%）のみで、家と土地を探さなければならず、また、戻る時も、もう一度家を建てなければならぬ。

仮住Ⅱ平井の場合で5年以上掛かっています。北小岩はその何十倍の面積。決定から戻るまでに何年掛かるのかわかりません。

減歩Ⅱ約100㎡以上は10〜15%の土地を公共用地として取り上げられます。それ以下の場合でも、減歩の代わりに完成後の土地評価額との差額分を、「清算金」として払う仕組みになっています。

Q マスメディアも「スーパー堤防方式」に疑問を投げかけているのに、なぜ？

A 05.12.2Ⅱ東都よみうり「長期工事に不安」

06.1.30Ⅱ東京新聞「治水に名を借りた都市再開発事業」

06.6.29Ⅱ毎日新聞「阪神大震災の地震にも耐える土嚢を開発」

06.7.17Ⅱ朝日新聞「溢れる川を前提に」
国交省も見直しに

06.8.13Ⅱ朝日新聞「溢れさせる治水を前提」
国交省新しい治水対策に

06.8.22ⅡNHK「右同予算と選定作業着手」

06.8.23Ⅱ日本テレビ「リアルタイム」

06.9.12Ⅱ読売新聞「堤防進まず行政転換」
等々あるが、スーパー堤防に関し江戸川区は都に對し真っ先に手を挙げた経緯がある。

Q 堤防計画予定地外だけど影響はあるの

A 同時の計画として「補助283号線と上小岩遺跡通り」の拡幅の問題があります。堤防工事をするにしてもダンプ等の道路整備が必要となります。正にこの2本はそのダンプ街道

となり、完成までの長期間（平井の場合でも9年間、北小岩はその78倍の面積）西小岩から北小岩全面にわたって騒音・振動・排気ガスやホコリに加え、交通事故の心配も生じます。従って、該当地域だけでなく、現在地に残らざるを得ない周辺の方達への影響の方が大きいということになります。

静かなこの北小岩の街並の様相が、一変してしまうのがわかるでしょう。

いずれにしても、この計画が高齢者や児童だけでなく、ストレスに弱い人々への配慮は全くされてなく、平穏な生活を激変させるだけの事業ということが出来るでしょう。